

記入例（事業者用）

事業用大規模建築物における再利用計画書

計画書の作成年月日を記入してください。

(提出先)  
足立区 区 長

令和〇〇年△△月□□日

建築物名称 ○△ビル  
 建築物所在地 足立区中央本町〇-〇〇-〇  
 所有者住所 同上  
 所有者氏名 株式会社□△商事  
 代表取締役 ○□ △◇

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第19条第3項の規定により、事業用大規模建築物における令和〇〇年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

建 築 物 の 属 性	
地上10階 地下2階 事業用延べ床面積 10,500㎡	建築物の用途
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)	事務所 2社 7,200㎡
建築物の名称	店舗(飲食店を除く。) 1店 1,400㎡
建築物の所在地	飲食店・ホテル・式場 1店 600㎡
階数(地上・地下)	工場・研究施設 所 ㎡
事業用延べ床面積	倉庫・流通センター 所 ㎡
当該建築物を使用している事業者の名称(別紙添付可)	医療機関 1所 200㎡
○△企画 △△不動産 ○×スーパー △△屋	その他( ) ㎡
記入欄が不足する場合は別紙一覧表を添付してください。	住宅 世帯 ㎡
在館人員 従業員(ナット従業員を含む。) 400人 計	共用部分 1,100㎡
外来者(通学者を含む。) 1,000人 1,400人	計 10,500㎡

1日の平均人数を記入してください

廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現況
一般廃棄物	(株) □□運輸	〇〇〇〇	○×清掃工場	共用部分とは、雑居ビル等で、階段、エレベーターホール、機械室等、どの用途にも属さない部分がある場合に記入してください。共有部分は、事業用床面積に含めて計算します。
産業廃棄物	(有) △△商会	〇〇〇〇〇〇〇	(株) □◇産業	
医療系廃棄物	◇◇株式会社	〇〇〇〇〇〇〇	△×(株)	

再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先
紙類	(株) ○○商会	(有) △×紙業
厨芥	(有) ○△商店	□○農園
びん・缶	(有) ×○センター	△△産業
廃油	◇□油脂	◇□油脂
段ボール	△○興業	×○産業

分別回収容器、リサイクルボックスが定着し、再生可能なものがリサイクルされるようになった。

今年度の目標	廃棄物管理責任者
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減した理由 焼却していたシュレッダーくず・伝票類をリサイクルしたため 再利用率がアップした。	選任年月日 令和〇〇年□□月△△日
2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標 再利用率を10%アップさせる。	会社名 株式会社□△商事
3 今後の具体的取り組みについて ・ビル内を定期的に巡回して分別状況を確認する。 ・ナット会議で処理量を減らすための協力をよびかける。	所在地〒 120-8510 足立区中央本町〇-□-◇
	所属名・職名 総務課 ○△担当
	ふりがな あだち たろう
	氏 名 足立 太郎
	電話番号 (3880) 〇〇〇〇
	廃棄物管理責任者が変更になったときは、「選任届」も併せて提出してください。

(裏面)

一年間の発生量を記入してください

資源としてリサイクルした量を記入してください

建築物名称 株式会社口△商事

種類	年度区分	前年度実績(前年度)			今年度計画(今年度計画)				対前年度(今年度計画-前年度実績)			
		発生量 (A)	処理区分		再利用率 (B÷A×100)	発生量 (D)	処理区分		再利用率 (E÷D×100)	発生量の増減 (D-A)	再利用率の増減 (E-B)	廃棄量の増減 (F-C)
			再利用率 (B)	廃棄量 (C)			再利用率 (E)	廃棄量 (F)				
事業系一般廃棄物	紙類	コピー用紙、OA用紙等	色付き用紙を含まず、OA用紙や連続帳票など									
	新聞紙、折込広告等(チラシ)											
	雑誌、パンフレット・色付き紙											
	一括処理文書(機密文書等)		機密性を保持したまま溶解処理した書類(シュレッダーくずを除く)									
	段ボール											
	その他紙類( )		複写式の伝票、封筒、シュレッダーくずなど									
	紙類小計											
産業廃棄物	厨芥類(茶殻、残飯等の生ごみ)		他の可燃ごみと一緒に出している場合は按分して量を記入してください									
	その他可燃物(枝葉など)											
	合計											

各事業者のごみ減量・再利用の目標に基づいて、発生量及び再利用率の計画などを記入してください

廃棄物として処理した量を記入してください

機密性を保持したまま溶解処理した書類(シュレッダーくずを除く)

他の可燃ごみと一緒に出している場合は按分して量を記入してください

産業廃棄物	飲料・食料用びん類		自動販売機のベンダー業者が回収する分を含めてください									
	飲料・食料用缶類											
	廃プラスチック類(ペットボトルを除く)											
	ペットボトル											
	ガラス・陶磁器くず											
	金属くず											
	廃油(食用油を除く)		食堂で調理に伴い排出される廃食用油の量を記入してください(委託している食堂から排出される分も含む)									
	食用油		産業廃棄物管理票(マニフェスト伝票)から量を記入してください									
	その他産業廃棄物(感染性廃棄物など)											
	特定の事業活動に伴う可燃物											
合計		産業廃棄物の「木くず」、「紙くず」、「繊維くず」、「動物のふん尿」など										

備考 数量は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示してください。

< 記入例 > ごみ処理・リサイクルフロー図

建築物名 ○△ビル

令和○○年△△月□□日現在

